

まちかど アルバム



無病息災の願いを込めて

用瀬町

旧暦の桃の節句にあたる4月8日(火)、用瀬町の千代川で、県の無形民俗文化財にも指定されている伝統行事「流しびな」が行われました。河原で祈とう神事が行われたあと、晴れ着姿の女の子たちが棧俵に乗せたひなを川に流し、小さな手を合わせて無病息災を祈りました。この日は「流しびな」の製作実演などもあり、約5千人の人の出でにぎわいました。

日本一!?!の巨大カレー

鳥取砂丘

「カレーのまち・鳥取」をPRしようと3月30日(日)、「第2回うち家のカレーコンテスト」(鳥取カレー倶楽部主催)が開催されました。会場となった鳥取砂丘のらくだ屋では、来場者らが審査員となって、一番鳥取らしく、おいしいカレーを投票により選出。また、鳥取湖陵高校の生徒が、豆腐ちくわやカニずしなど鳥取ならではの具材を使った巨大なカレーを披露し、来場者に振る舞いました。



ご当地体操で楽しく健康づくり

さざんか会館

3月25日(火)、県内の自治体が健康づくりや街おこしのために作った「ご当地体操」を披露する交流会が、富安二丁目のさざんか会館で開催されました。妖怪のまちづくりを進める境港市は「きたろう体操」、大山町は「大山賛歌体操」など、それぞれご当地にちなんだ体操を披露。鳥取市は「しゃんしゃん傘踊り」の音楽に合わせて、棒を持って体を動かす「しゃんしゃん体操」を紹介し、大好評でした。

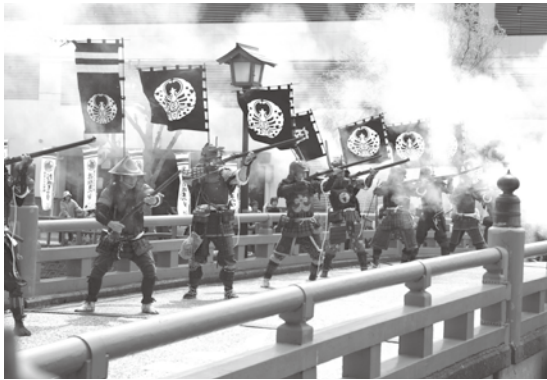


「らっちゃんバス」運行開始

福部町

4月1日(火)、福部地域内を走る「福部循環バス(愛称:らっちゃんバス)」の運行が開始され、同総合支所で記念のセレモニーが行われました。これは、市社会福祉協議会が主体となって、3月末で廃止となった路線バスの代替手段として運行するものです。式典には福部町のマスコットキャラクター「らっちゃん」も出席。利用者代表の南部敏さんらがテープカットを行い、運行開始を祝いました。





一斉射撃のご音響く

智頭橋一帯

「第九回鳥取三十二万石お城まつり」が4月5日(土)と6日(日)に開催され、満開の桜の下、多くの家族連れや観光客でにぎわいました。会場となった袋川の智頭橋一帯では、岡山城鉄砲隊による火縄銃の一斉射撃や市民有志による時代行列、因幡の麒麟獅子舞などが披露され、祭りは大いに盛り上がりました。

ユネスコ絵画コンクールで大賞を受賞

市役所

西郷小学校2年生(受賞当時)の漆原瑞紀くんが描いた「大きな牛」という作品が、社団法人日本ユネスコ協会連盟主催の絵画コンクールで大賞を受賞。3月31日(月)、横川貴恵子校長らと一緒に竹内市長へ喜びの報告を行いました。授業で地域の宝を探しに出かけ、最も印象に残った牛を描いた漆原くん。全国から寄せられた3万点の中から選ばれました。



地域で子育て

いきいき成器保育園

4月7日(月)、国府町成器地区に「いきいき成器保育園」が開園しました。同園は、市立いずみ保育園の閉園に伴い、地元の住民有志が「地域のために、ぜひ存続させたい」と運営協議会を立ち上げ設立したもので、市は運営費を補助するとともに、施設や土地などを無償貸与。入園式を兼ねた開園式には、新たに入園する園児4人とその保護者、関係者らが出席して、新しい門出を祝いました。

中学生の熱い戦い

気高町

3月29日(土)から30日(日)にかけて、気高町内で「鳥取市気高スカロップ杯中学生バレーボール選手権大会」が開催され、中・四国地方から選抜された男女それぞれ18チームが熱戦を繰り広げました。本市からも鳥取北中学校や国府中学校など8チームが参加し、保護者や観客の大きな声援を受けながら、必死にボールを追いました。同大会は多くのボランティアに支えられ、今年が12回目。中学生が実力を試すいい機会になっています。



県無形民俗文化財「鹿野祭り」

鹿野町

四百年の伝統を誇る城山神社の祭礼「鹿野祭り」。今年は2年に1度の大神にあたるため、4月12日(土)と13日(日)の2日間開催されました。13日の「本祭り」では、神を先頭に各町の屋台や「幟差し」と呼ばれる武者行列などによる華やかで情緒豊かな行列が古い町並みをゆっくりと練り歩きました。

